

⑦ 退院時等に継続された処方に関する事例

処方が継続された経緯と疑義内容

ヒヤリ・ハット事例のうち、退院時等に継続された処方に関する事例が38件報告されています。(集計期間：2016年1月1日～12月31日)。このうち、疑義照会の事例34件について処方が継続された経緯と疑義内容を以下に示します。

処方継続の経緯		疑義内容	報告件数		
他の医療機関との連携	外来→外来	規格間違い	6	21 (61.8%)	
		分量間違い	3		
		薬剤間違い	3		
		処方漏れ	1		
		不要な薬剤の処方	1		
		用法間違い	1		
	入院→外来	分量間違い	3		6
		規格間違い	2		
		処方期間	1		
同一医療機関内の連携	入院→外来	規格間違い	4		13 (38.2%)
		分量間違い	3		
		処方漏れ	2		
		処方の重複	2		
		薬剤間違い	1		
		不要な薬剤の処方	1		
合計			34 (100.0%)		

※ 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成28年年報 223頁 図表7-7をもとに作成した。

※薬局ヒヤリ・ハット分析表は、薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業（厚生労働省補助事業）において収集された事例をもとに、本事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページをご覧ください。http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/
 ※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
 ※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。

